

第4号議案 2017年度事業計画案

1. 法人の運営に関する事項

(1) 通常総会の開催

日時、場所:2017年5月26日(金) 17:00～ 市民の力わかやま 事務所にて。

(2) 理事会の開催

理事会を随時、開催する。

(3) 事務局業務について

引き続き、和歌山市橋丁の事務所にて事務局業務を行い、必要時に事務局会議を開催する。週に1回、事務局スタッフの定例会議を開催し、効率よく業務を遂行できるようにする。

2. 事業に関する事項

(1) インターネットを利用した各種講座や現地スクーリング講座の運営支援事業(市民塾事業)

① わかやまインターネット市民塾事業(自主事業)

A) わかやまインターネット市民塾講座、スクーリング

市民の力わかやまが法人設立当初より管理運営しているわかやまインターネット市民塾を引き続き自主事業として継続する。

B) きのくに県民カレッジ

引き続き今年度も市民塾の一部の講座を「きのくに県民カレッジ」に登録する。

(2) まちづくりの推進、伝統文化芸術等の普及・継承を目的としたイベントなど種々の事業

① リノベーションスクール開催等業務

2013～2016年度に「遊休不動産再生活用推進事業」を実施したが、今年度は、前年度に引き続き、「リノベーションスクール開催等業務」として、当事業を実施する予定である(6月～2月、和歌山市商工振興課)

② 水辺空間を活かしたまちづくり手法検討・調査事業用推進事業

前年度に引き続き「水辺空間を活かしたまちづくり手法検討・調査事業用推進事業」に協力する予定である。(6月～2月、紀州まちづくり舎、和歌山市政策調整課)

③ わかやまの底力・市民提案実施事業

わかやまの底力・市民提案実施事業として、「市堀川の民間活用を促すリノベーションまちづくりプロジェクト」を実施する。(4月～2月、和歌山市市民協働推進課)

和歌山市市堀川沿いには遊歩道が整備されているが、周辺の建物は、川に背を向けたものが多く、まだまだ回遊性に乏しい状況である。この事業では、民間の飲食店等に働きかけて、その店舗を川に向かって開かれた建物に改修することで、遊歩道から店内に、もしくは、店内から遊歩道にアプローチできる事例を作り、遊歩道の活用を促していこうとするものである。

④ わかやまイベントボード事業(自主事業)

前年度に引き続き「わかやまイベントボード」を自主事業として管理・運営を行う。

また和歌山大学と協力し、わかやま文化情報館イベント入力との自動連携等も考慮した新システム構築を目指す。

⑤ 景観まちづくり推進事業(自主事業)

前年度に引き続き「景観まちづくりの推進」事業を自主事業として継続する。

今年度も情報発信サイト「きのくに風景讃歌」のコンテンツ充実等を実施する予定である。

⑥ 紀の川流域の文化遺産を活かした地域活性化事業

2013年度～2015年度に「紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会」等が文化庁事業として実施したが、今年度は新たに本事業を実施する予定である(6月～3月、文化庁事業)。「市民の力わかやま」はこの事業に直接関係はないが、市民の力わかやまの理事及び事務局員が当該協議会に参加し、中心となって事業の推進に協力する予定なので、ここに記す。

紀の川流域にある文化遺産を「南海道」を核に、高野・熊野の参詣道、修験の道を含んだ、「道(街道)」の観点で繋ぎ、この地域の魅力あるストーリーを構築し、様々な活動を通じて流域全体としての文化価値を増幅する。これにより地域の一般市民の文化遺産に関する意識の向上、価値の共有を行い、さらには地域外にも価値認識を高めるべく情報発信し、広域連携および地域の活性化を図る。具体的には、以下の事業を実施する予定である。

A) 情報発信

「南海道を歩く」情報発信:スマートフォンアプリによる情報提供

B) 普及啓発

講演会 1 回、シンポジウム 1 回、歴史街道ウォーク 2 回、歴史探訪ウォーク 1 回

(3) 教育の機会が失われている住民への教育機会の提供及び教育環境の改善事業

① IT 普及事業(自主事業)

前年度に引き続き、以下の IT 普及事業を自主事業として継続実施する。具体的には以下のような IT 講習等を実施する。

・チャレンジ塾:毎週水曜日に 3 コマ(1コマ 80 分)を実施(通年)

・きのくにふれあい学習研究会のメンバーとして「IT はじめの一步講座」(初心者向けの少人数 IT 講習会)を月 2 程度実施。(場所:文化情報センター)(通年)

(4) その他この法人の目的を達するために必要な事業

① テレワーク事業(自主事業)

前年度に引き続き、テレワーク事業をさらに継続、発展させる。多くの企業等からの受注を目指すとともに、テレワーカー発掘・養成しそのネットワーク構築を目指す。

② 医療情報関係事業

「NPO 法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会」(略称 Wamina)とともに医療情報関係事業等を実施する予定である。

③ WIDA 事業

前年度に引き続き、和歌山県情報化推進協議会(略称 WIDA)の事務局業務を担い、協議会の活性化を図ることにより、和歌山県の情報化推進に協力する。(通年)

事務局としては前年度と同様の WIDA の活動を事務局としてサポートする。

④ HP 作成等事業

前年度に引き続き、依頼があれば、他の団体等の HP 作成等業務を実施する。

⑤ その他事業

・前年度に引き続き、大人大学推進協議会(和歌山大学、紀陽銀行、和歌山リビング新聞社)主催の「大人大学」に協力する予定である。

・NPO 等支援事業(自主事業)

NPO 法人、ボランティア団体、市民のかわかやま正会員、その他必要とする個人・団体の方々などに活用していただけるよう、市民のかわかやまが所有する ICT 機器、音響機器、通信機器などを貸し出しする仕組みをさらに充実させる。

⑥ その他

A) 他の NPO 法人や地域活動団体等との交流・連携・支援

引き続き、県内各地の NPO 法人や地域活動団体等との交流・連携を図る。

B) 市民のかわかやまサイトの運営

引き続き、市民のかわかやまのサイトを維持管理する。

以上